



ひよこぐみだより 2月

2021年2月1日 保土ヶ谷保育園

ひよこ組担任

最近のひよこ組の様子

朝晩と日中、日によって気温差の大きい日が続いています。乾燥する中マスクをしての毎日に、おうちの方も大変な日常だと思います。ひよこぐみの子どもたちにとっては、生まれてからこれがほとんど当たり前の中過ごしているせいか、マスクの姿の大人にもにっこり笑って話しかけている姿に頼もしささえ感じます。そんなひよこぐみの子どもたち。みんな、お散歩とご飯が大好きです。遊んでいる途中でも、「お散歩こう」「ご飯食べよう」の誘いには即反応！お散歩準備やご飯の準備はお手のもの。

お散歩では、今日はこのバギーに乗りたい、歩いていきたい等、気持ちがはっきりしていて主張します。そして、寒さに関係なく元気に走り回って大はしゃぎしたり、散歩先で見つけた気になる物をじっと観察したり。思い思いに遊んでいるかと思ったら、お友だちの真似っこをして笑い合ったり。子どもたちのパワフルさに、追いかけているだけであっという間に時間が過ぎます。大好きなご飯では、どのクラスよりもよくおかわりをして給食の先生に驚かれるほど、気持ちよくモリモリ食べています。

そんなひよこぐみ、ますますいろんなことにチャレンジしながら、残り2ヶ月、毎日楽しんで過ごしていきます。

“真剣に伝えたいこと”

毎日子どもと過ごしていると、子育てについて考え、悩むこともあると思います。まだ1歳、とは言っても「どうしてわかってくれないの？」とイライラしてしまうことだってありますよね。叱ってしまったことに後悔をした話を聞くこともあります。子どもの成長に、驚いたり、喜んだり、でも心配になったり。パパやママがそう感じていることが素敵だと思います。何が正解かなんて誰も決められないのが子育てだと思います。だからパパやママに肩の力を抜いて欲しい。でも、子どもの命に係わること、そこだけは譲れない気持ちを持って子どもに伝えることは大事だと思っています。好奇心の塊のような1歳の子どもたち。まだ危険を察する能力はとても低いのです。だからこそ、側にいる大人が「(命に係わる) 危ないこと」は真剣な表情で「危ないよ」と伝えなければならないと思っています。「叱る」のではなく「真剣に伝えること」。子どもたちはちゃんとわかっているなと感じています。



今月の活動

○室内遊び

- ・ごっこ遊び、見立て遊び

椅子を並べてバスや電車に見立てたり、おもちゃのお皿に積み木を乗せて「どうぞ」とふるまったり。子どもたちの発想と一緒に膨らませながら言葉のやり取りを楽しんでいきたいと思っています。

○戸外活動

- ・ボールやシャボン玉を使った遊び

外での自由活動に加えて、道具を使った遊びも楽しんで身体をたくさん動かしていけたらいいなと思っています。



最近のブーム

布団を使ったかくれんぼ

遊びに使っている敷布団の袋状のカバーをめくって中に入るのが最近のお気に入り。大人がカバーをちらっとめくるとキャーキャーと大はしゃぎです。

名前を呼ばれたら逃げる?!

名前を呼ぶ歌を歌うたって返事をするのが大好きだったひよこぐみさん。いつの間にか逃げる遊びに変わっています。何度も名前を呼ばれたくて「もう一回!」と近づいてきては、呼ばれると大喜びで走って逃げています♪



お知らせ

- ・引き続き感染予防に石鹸での手洗いを徹底しています。ご自宅でも手洗い習慣をつけましょう。
- ・突然でしたが、送迎時の玄関での受け渡しにご協力くださりありがとうございます。最初は子どもたちも戸惑っている様子でしたが、すっかり慣れた様子になってきてホッとしています。着替えやオムツの補充については、ノートに書くように致しますので、引き続きご協力をお願いいたします。